

1 Years Later

1年後のわたし

穴吹カレッジを卒業してから1年目になる卒業生の活躍をお届けします。



高松 Graduate 株式会社サイバーコネクトツ

ゲームプログラマー 専門学校穴吹コンピュータカレッジ【高松】
ゲームクリエイター学科 平成29年卒業

大西 優太 (三豊工業高等学校出身)
Yuta Onishi

自分にしかできない実装を頼まれる、
専門的に頼られるプログラマーになりたい。

ゲームをプレイする時に、こうしたら
もっと面白くなる!とっていました。

小さい頃からゲームでよく遊んでいたのですが、「こうした!こうだったらもっと面白くなる!」と思いながらプレイしていました。その後、プログラミングを勉強して、高校生の頃には自分が作ったRPGやアプリなどを友達に遊んでもらっていました。友達を楽しそうにプレイしたり、ゲームの感想を言ってくれることが、とても嬉しく、この



分野を極めたいと思ったのが進学のきっかけです。

チームで一つのゲームを作り上げる
知識と経験が身につきました。

在学中の授業では、ゲームを作るための基礎知識が身についたことはもちろん、校外のイベントにも参加させてもらい、ゲーム会社での『インターンシップ』経験や、大阪や東京で行われる『ゲームジャム』という、知らないメンバーと数日間ゲームを作るイベントにも参加し、現場の意見や、業界では必須であるチームで一つのゲームを作り上げるための知識・経験を身につけることができました。



ゲームに自分の意見を取り入れる夢が
叶いました。

卒業後、プログラマーとして就職し、さまざまな役割の方と連携しながらゲームのプログラミングを行っています。自分が実装を担当したものが、そのまま販売されるゲームに含まれるので、小さい頃から思っていた、「こうした!」という思いを実現できることが一番のやりがいです。

現在は、まだ公開できない情報を取り扱っているため、細かくは言えませんが、クオリティの高い家庭用ゲーム機のソフト開発を行っています。完成した時はスタッフロールに名前が載りますので、その時は名前を見つけてみてください。



学生時代の大西さん
パズルシューティングやアクションRPGなど、20個ぐらいのゲームを作りました。完成した作品を、学生全体で集まり発表することが今でも印象に残っています。

1 Years Later



1年後の大西さん
仕事の中で専門学校では学ばなかった範囲のプログラミング知識が身につき、さまざまな年代の方と意見を交わし合っでゲームを作ることで、日々成長を実感できる毎日です。



長川先生からのコメント

ゲームクリエイターになることへの熱意が高い学生でした。積極的にゲーム制作を楽しみ、何事にも懸命に取り組んでいました。特に演出面、ゲームフレームワークの制作がずば抜けていて、今でも彼の成果物を後輩が模範にするほど有名な卒業生になっています。また、明るい性格で、クラスメイトや業界人と気兼ねなく話せるので、皆様から愛されるクリエイターになることを期待しています。

在校生・卒業生の 親族入学優遇制度

入学者の親族が穴吹カレッジの卒業生・在校生なら免除あり

入学者の親族が、穴吹カレッジグループ在校生・卒業生の場合、下記の金額を入学手続き時に学費から免除する制度です。※親族の方が中途退学している場合は対象になりません。

- 2親等内(親子・兄弟姉妹等)の方は10万円を入学手続き時学費から免除します。
- 4親等内(おじ・おば・いとこ等)の方は5万円を入学手続き時学費から免除します。





Hiroshima

穴吹デザイン専門学校

Competition

コンペを通して デザイナー・クリエイターの自覚を育む

コンペは「生きた課題」

デザインの世界ではコンペによって採用案を決定することが良くあります。ロゴマーク、パッケージ、プロダクト、そして空間デザインや建築、景観まで。コンペで勝つことはデザイナーにとって大きなチャンスです。穴吹デザイン専門学校では、その大きなチャンスを

掴むため、数多くのコンペに挑戦しています。学生にとって、通常の授業課題とは違い、コンペは他流試合のようなもの。クラスの中でトップレベルでも世間では歯が立たないことや、また逆に、クラスの評価では冴えなかったデザインが賞を取ることもあり、世の中には様々な視点があることをコンペに挑むことで理解します。まさに「生きた課題」です。

学生はテーマについて考えをめぐらし出てきた、いくつものアイデアを友人や講師に披露し、フィードバックを得ます。そして審査員の分析をし、アイデアを修正し、掘り下げることで、そのうち自らの中に原石を見つけます。そしてそれを表現することを試みます。コンペで培われるこの経験は、自分だけの武器となり、ものづくりのプロとなるための第一歩となるのです。

CG・ゲーム学科
マンガ・
アニメーション学科



株式会社エフオール 進学雑誌
表紙イラストコンテスト
最優秀賞

「uniform」

CG・ゲーム学科 1年
山岡 拓人 (広島県立広島観音高等学校卒)

様々な職業の制服を壁にかけどれを着るか選ぶ少年少女を描くことにより、なろうと思えばどの職業に就職することもできるという、未来の可能性の大きさを表現しました。

Prize
【戦闘摂理解析システム】
#コンパスヒーローデザインコンテスト
「ベンジャミン・ホーニゴールド」

CG・ゲーム学科 2年
室 翔子 (広島県立呉昭高等学校卒)
CG・ゲーム学科 2年
田島 奈々 (広島県立安芸高等学校卒)

海賊をモチーフにし、そこから膨らませていきました。ゲームに乗り物に乗っているキャラがいらないということから小さい船で移動し、大砲で攻撃するというデザインにしました。



Prize
集英社ヤングジャンプ
2017年6月期シンマン賞
期待賞・初投稿賞
「UNDEAD JAPAN」

マンガ・アニメーション学科 1年
六須 ぼるか (広島市立基町高等学校卒)

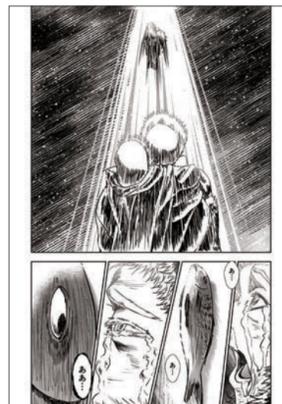
この漫画は高校生のときから描いていた漫画で、6作品目です。やっと受賞できて良かったです。まだまだ未熟な所が多いので、次回作では改善し、熱くて魂がこもって面白く漫画を描きます。



Prize
講談社 ヤングマガジン
第448回(8月期)
新人漫画賞 佳作
「たい焼きを創ろう」

マンガ・アニメーション学科 1年
三川 多 (広島市立呉宮原高等学校卒)

受賞の第一報を受けた時、賞が明言されなかった為「さては参加賞だな」と勘繰っていた所まさかのサプライズ。この度の佳作受賞と相成りました。この場を借りて指導頂いた穴吹の先生方に御礼申し上げます。



商品企画
デザイン学科



Prize
株式会社ロフト LOFT & Fab Award 2017
SILVER賞
「MARK」

商品企画デザイン学科 2年
板垣 愛美 (広島県立安芸高等学校卒)

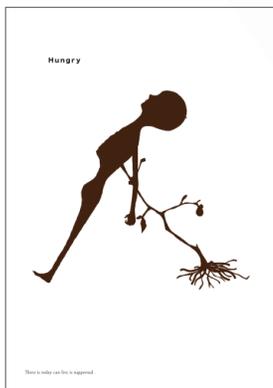
ガムの通し方でインシャルのアルファベットやマーク、漢字などバリエーション豊かな自分だけの印(しるし)-MARK-を作ることができるアクセサリです。



Prize
JAGDA 学生
グランプリ 2017
入選
「人、支えるもの。」

グラフィックデザイン学科 2年
小倉 克己 (広島工業大学付属高校卒)

コンセプトは「人を育てる」です。テーマである「食」について、世界を見てみると、飽食の地域もあれば飢餓地域の国も存在します。飽食の地域で育った自分は、日頃、食事をするという行為について、そのありがたさを感じることはありませんでした。食についてのありがたみを伝えられるよう目指しました。



「JAGDA学生グランプリ」とは？

年に1回、年齢や学年を超え、すべての学生作品の中から最優秀作品を選出するポスターコンペティション。JAGDA主宰。今年は、応募総数1,178作品(累計1,614枚)そのうち受賞入選は129作品。

インテリアデザイン学科
建築学科

Prize
Design League in
HDD2017 優秀賞
「霧」

インテリアデザイン学科 2年
今川 祐希 (広島県立大門高等学校卒)

動いている人が影のように見え、次第に霧に包まれて薄らしていく、そんな居心地のいいレストランです。



Prize
メガネのタナカ
DISPLAY DESIGN CONTEST
優秀賞
「夏とPeaceとメガネ」

インテリアデザイン学科 2年
金 敏子 (中国)

美しい夏と平和な未来が本でできたメガネを通してよく見えることを表現したディスプレイです。



グラフィック
デザイン学科

Prize
広島平和ポスター
学生コンペティション
2017 グランプリ
「明日何しよう」

グラフィックデザイン学科 2年
宇津宮 颯 (広島県立三次高等学校卒)

少し先の未来のことを何気なく考えられる環境が平和であるというコンセプトのもと、前向きに「先を見据える」ことを表現しています。



高松 穴吹コンピュータカレッジ[高松]

校内プログラミング
ハッカソンを
開催しました

ハッカソンとは「ハック」と「マラソン」を組み合わせた造語で、マラソンのように、制限時間内にテーマとなる条件に沿ったプログラミングを行い、成果を競い合う開発イベントのことをいいます。いつもの授業とは違う緊張感もある中で、チーム内で相談し、緊張をほぐしながら問題に向かっていました。会場のスクリーンにはリアルタイムでランキングが映し出され、目が離せない時間が過ぎていきました。参加学生からは実力が確認できるいい機会になったとの声が多く聞かれました。



高松 穴吹ビジネスカレッジ[高松]

宅建士取得と
税理士科目合格

国家資格である宅地建物取引士試験の合格発表があり、結果は4名合格でした。(全国平均合格率15.6%)また、会計事務学科2年生が簿記論、財務諸表論の2科目同時合格を達成いたしました。合格者は、日商簿記1級・全経簿記上級の資格も取得しております。簿記の勉強を始めて2年での成果です。「税理士になる」という目標を持ち、入学してきた学生です。目標達成に向けて、今後も応援をしていきたいと思っております。



高松 穴吹デザインカレッジ[高松]

マンション
コーディネートの
完成しました

トータルインテリア学科の産学連携事業で学生向けマンション・アパート賃貸大手のUniLife様より賃貸マンションのモデルルームインテリアコーディネートの依頼があり、2年生が取り組みました。UniLife様から概要及びご要望をお聞きし、班に分かれエスキス、ボード、模型と製作しました。そしてプレゼンを行い、コンペ形式で採用案が決定しました。その結果、最優秀の案を実際のマンションに施工することとなりました。



高松 穴吹ビューティカレッジ[高松]

ワインディング
1000本巻きを
実施しました

10月27日に穴吹ビューティカレッジにて、美容学科1、2年生がワインディング1000本巻きを実施しました。ワインディングとは、パーマをかけるための基本技法で、美容師国家試験の実技課題の一つです。この1000本巻きに取り組むことで、ワインディング技術の底上げを図り、国家試験の合格に繋げるだけでなく、集中力、忍耐力を養い精神面を鍛える訓練にもなっています。強い自信をつけ、今後も練習に励んでください。



高松 穴吹工科カレッジ[高松]

スズキ新機構研修が
開催されました

自動車整備学科(2年制)の1年生と自動車整備学科(3年制)の2年生を対象とした、スズキ新機構研修が開催されました。スズキ自販香川様の自動車整備士の方より、最新の車の説明や、技術の説明、実際の現場のお話をお聞きしました。実際に整備士として働く方からの貴重なお話は、学生たちにとって、とても良い刺激になったようです。これからも新しい知識を、たくさん吸収してめざす夢へと頑張っていきたいと思います。



高松 穴吹リハビリテーション
カレッジ[高松]

認知症
サポーターの
講習をうけました

高松市地域包括支援センターの方にお越しいたご、認知症サポーター養成講座を受講しました。講義の後に、認知症事例についてグループワークを行い、正しい対応の仕方を話し合いました。授業で習っていても、実際の場面を想定すると、どの対応が一番適切なのか迷うことが沢山出てきました。体験談を交えながら解説していただけたことで、より実践的な対応の仕方を学ぶことができました。



高松 穴吹パティシエ
福祉カレッジ[高松]

校内創作菓子
コンテスト

12月5日、6日にパティシエ・ベーカリー学科の2年生が校内創作菓子コンテストに挑みました。7つのグループに分かれ、課題に沿った菓子を創りました。今回は、「ホワイトソルガム」というきび粉を使用した菓子を創るというのがポイントの1つ。今回は全体的にレベルが高く、審査は難航しました。順位はつきましたが、どのチームも非常に素晴らしい出来でした。パティシエ・ベーカリー学科2年生のみならず、お疲れ様でした。



高松 穴吹動物看護カレッジ[高松]

校内トリミング
コンペ開催

11月10日、動物健康管理学科ペット美容・グルーマー専攻の2年生と動物看護総合学科の3年生が、校内トリミングコンペに挑みました。カットの仕上がりはもちろんのこと、犬の扱い方、道具の使い方などを細かく審査されます。学生たちはとても緊張していましたが、日ごろの勉強の成果をしっかりと発揮することができました。卒業後はこの経験を生かして頑張ってください。上位成績者は、全国大会に出場します。



高松 穴吹医療大学校[高松]

歯科衛生学科
文化研修

12月8日、歯科衛生学科2年生が「歯科診療台」「歯科レントゲン」「歯科レーザー」など歯科診療所で扱う器械を製造している企業のモリタ様の京都の工場を見学しました。工場での歯科器械の製造の流れについて説明していただきました。歯科衛生士の方の講話では身だしなみや接遇マナーの大切さについてお聞きしました。今回の会社見学で学んだ知識を生かし、臨地実習や就職活動に繋げていきたいと気持ちを新たにしました。



高松 穴吹ビジネスカレッジ
日本語学科[高松]

穴吹祭が
開催されました

11月3日、4日サンポート高松大型テント広場に穴吹カレッジグループ高松9校合同のイベント「穴吹祭」が盛大に開催されました。11月とは思えない程の晴天に恵まれ、2日間大盛況の学園祭でした。日本語学科のブースでは、ベトナムや台湾、ネパールなど、さまざまな国から来ている学生たちが、来場者の方たちに自国の紹介をしました。多くの人に自分の国の魅力と文化を伝えることができました。



徳島 穴吹デザインビューティ
カレッジ[徳島]

学生のデザイン
Tシャツが
製品化します

徳島インディゴソックス様との連携企画で、Tシャツをデザインさせていただきました。それぞれ考えたデザイン案を、ファンと球団の皆様による投票で選んでいただいた結果、グラフィックデザイン学科1年生の三宅羅衣さん、川淵正太くん、2年生の柳江優芽さんの3名のデザインが採用されることになりました。球団社長にもご来校いただき、表彰していただきました。現在、製品化へ向けてデザインの最終調整をしています。



徳島 穴吹福祉医療カレッジ[徳島]

卒業生による
就職講演会が
行われました

まもなく就職活動を開始することも保育学科1年生、こども・社会福祉学科2年生を対象に保育や社会福祉の現場で活躍されている卒業生にお越しいただき、就職講演会を開催しました。現在の仕事内容や、学生時代に力を注いだこと、就職活動の軸としたことなど在校生が聞きたい内容を詳しくお話いただきました。また、学生時代に頑張っていたこと、学生だからできることなど後輩のために貴重なアドバイスをいただきました。



徳島 穴吹情報公務員
カレッジ[徳島]

東京IT企業を
訪問しました

11月20日、21日に情報システム学科2年生全員で東京の企業訪問に行きました。IT人材の将来像、また人材の育成についてなど、さまざまなお話をお聞きしました。学生の方は、社会人になってからのこと、今不安に思っていること、東京の魅力についてなど、たくさん質問をしました。この2日間を通して、社会人と学生の違いを肌で感じる事ができたこと、徳島にはない都会の魅力を感じたことで、学生たちの成長につながりました。



福山 穴吹情報デザイン
専門学校[福山]

ドローン講演&
体験会

11月12日に京都市の日本ドローン産業事業共同体様からインストラクターの方々をお招きして、ドローンの講演&体験会を実施しました。前半は「ドローンの運用と活用方法について」というテーマで講演をしていただき、ドローンに関する歴史や種類、ルール、法律について学びました。後半は実際にドローンに触れ、体験学習をしました。災害時での人命救助等、さまざまな分野で活躍が期待されるためだけに大切なことがたくさん学べた見学でした。



福山 穴吹医療福祉専門学校[福山]

プライダル
ギャラリーで
衣装見学

ホテル・プライダル学科の学生がプライダルギャラリー福茂様を見学させていただきました。和装のプライダルコーディネーター業務について学んでいる学生たちは、白無垢に色打掛、など普段目にする事のない衣装がたくさんあり、興味津々の様子でした。衣装コーディネーターとしての業務内容を教わり、信頼いただける身だしなみ、所作、言葉遣いも大切であるということをお教わりました。プロになるために大切なことがたくさん学べた見学でした。



福山 穴吹動物専門学校[福山]

大阪研修に行きました

11月19日、11月20日の2日間、大阪研修に動物看護総合学科、動物健康管理学科2年生が行きました。1日目はグラントキョウ大阪で行われた第38回動物臨床医学会年次大会に参加しました。研修2日目には滋賀にあるペット用のシャンプー工場を見学させていただき、その後、京都にある本社の研究所の見学もさせていただきました。工場、研究所で働く方々がとても親切で、大変刺激になった見学でした。



福山 穴吹ビューティ専門学校[福山]

特別講義
特殊メイク

12月12日、美容学科1年生を対象に特殊メイクの特別授業が行われました。講師は桂や所属のメイクアップアーティスト、廣重隆二先生。初めに、廣重先生に「アニマルメイク」と「傷メイク」のデモンストレーションを披露していただき、プロの技を目の前で体感しました。その後、実際に各々「傷メイク」の実習をしました。学生たちは初めての体験にとっても真剣な表情で取り組んでいました。



福山 穴吹調理製菓専門学校[福山]

卒業料理製菓
展示会が開催

12月3日と12月10日に調理系、製菓系卒業年次生による卒業料理製菓展示会が行われました。学校で学んだ知識と技術の集大成を発表する場であり、作品のデザインから調理・制作までのすべてを一人で行い、その出来栄を競います。そして、展示会はコンペティション形式で審査が行われます。卒業年次生はこの作品展示会に向け、日々努力してきました。今回の展示会による気付きや、反省を、就職先でも活かしてもらえたらと思います。



広島 穴吹デザイン専門学校[広島]

「全国持ち込み大会」
が開催されました

11月5日、少年サンデー編集部様による「全国持ち込み大会」が、穴吹デザイン専門学校を広島会場として開催されました。毎年秋に行われている大会で、一般の方も参加可能です。今回は在校生が5名、高校生が1名、一般参加の方が1名、名刺をいただきました。2月には卒業終了制作として描き上げた漫画を、いろいろな編集部の方に見ていただきます。結果が出た方もそうでない方も、今回の貴重な経験を作品作りに活かして頑張ってください。



穴吹カレッジの最新ニュースをいち早くお知らせ!



穴吹カレッジグループFacebook
穴吹カレッジのマスコットキャラクター「穴トラ」が独自の視点で各学校のイベント報告やトピックスを厳選して紹介。
www.facebook.com/anabuki.college



穴吹カレッジグループTwitter
穴トラが穴吹カレッジの最新ニュースをお知らせしてくれます。
twitter.com/ana_tora



穴トラがLINEスタンプになりました。バリエーション豊富です!
<https://store.line.me/stickershop/product/1254954/ja>

★年に1度のスペシャルイベント！ 学園祭 Special Event レポート

高松 穴吹カレッジグループ高松



good!

11月3日(金)、4日(土)、穴吹カレッジグループ高松9校共同の穴吹祭がサンポート高松 大型テント広場で行われました。ステージイベントでは、開催が二日間ということで沢山のイベントが行われました。はじめは他校舎の学生とのコミュニケーションが恥ずかしそうな所もありましたが、お互いに意見を出し合い協力し、楽しい時間を過ごすことができました。

広島 穴吹カレッジグループ広島



Happy!

10月7日(土)、8日(日)にBRUCKEが開催されました。BRUCKEとは、デザインを通して地域と繋がることをテーマとしたイベントです。学生の自主性を育む機会でもあり、自分たちがデザインしたアイテム販売や展示、ワークショップなどを、学校の校舎から飛び出して実施し、街の人たちと喜びを共有することができました。

徳島 穴吹カレッジグループ徳島



Kawaii!

10月28日(土)、29日(日)に穴吹学園徳島校で穴吹祭が開催されました。台風の影響で、残念ながら二日目の模擬店は中止となりましたが、ケーキ早食いや二人羽織、お笑い芸人によるトークライブなど、二日間できざまなプログラムを通して今年も大いに盛り上がり、他学科の学生と交流も深めることができました。

福山 穴吹カレッジグループ福山



WOW!

10月28日(土)29日(日)の二日間、穴吹祭が開催されました。学生たちは各学科の模擬店や学習活動展示の運営を行ったり、軽音部ライブや仮装大会、カラオケ大会、ハロウィンパーティー、和太鼓演奏、ミニゲーム、早食い大会といった各イベントへの参加・観覧で盛り上がりました。心配された台風の影響も感じられず、学園祭本部・委員の学生が中心となって成功させることができました。

穴トラLINEスタンプできました!

穴トラがLINEスタンプになりました! バリエーションも豊富で、使い勝手もGOOD! いろんな穴トラスタンプを使ってみてね!
<https://store.line.me/stickershop/product/1254954/ja>



年賀状をたくさんもらう人の法則

メールやLINEで済ますことの多くなった新年のご挨拶。そんな中、毎年、年賀状をたくさんもらう人っていったいどんな人なんでしょう? わざわざ年賀状にして送ってくれるのだから、さぞや人望のある人なんでしょうか?

残念。違います。年賀状をたくさんもらう人は、自分でもたくさん出している人です。人望の有無とは関係ありません。出した数だけ返ってくる。これぞ名付けて「年賀状の法則」。

年賀状といえば、あの定番句を思い出します。「旧年中は何かとお世話になりました」「ご無沙汰しています。お元気ですか?今年もよろしく」年に一度の挨拶に「お元気ですか?」もあるまいに、つついつい思ってしまう。元気がどうか本当に気になれば、お正月を待たなくても電話やメールをすればいいのだから。こんなやりとりを続けている人はおそらく来年もまた同じ文句を書き添えるのでしょう。

新年の誓いもこれに近いものがあります。いわく「今年は〇〇できたらいいなと思っています」

夢が実現しない人の法則

さて、新年、誓いの言葉。毎年同じような誓いが繰り返されているのはなぜでしょうか? 答えは前段、「年賀状をたくさんもらう人の法則」

の最後の一文にあります。…そうです。「できたらいいなと思っています」

「できたらいいな」には、できないかもしれないけどという言い訳が感じられます。「と思います」にも、どこか弱気なニュアンスが込められています。要するに「新年の誓い」には信念に近いどころか、信念とは程遠い、とりえず言ってみただけ…という軽いものが多いのです。

はたして本気? 本気度が試されるのは就活の面接も同じです。たとえば、「将来、どんな仕事をやってみたい?」という面接官に、あなたなら何と答えますか?

「広報の仕事ができたらいいなと思います」と答えるA君
「広報の仕事をお願いします」と答えるB君

あなたが面接官ならどっちを採用しますか? A君のような答え方には、謙虚さというより自信のなさを感じてしまうのではないのでしょうか。いっぽうB君のような答え方なら、面接官は興味津々。「なんで、広報の仕事なの?」ってさらにつっこんで訊きたくなるでしょう。

本人もそれだけ言い切るのだから、それなりの決意、根拠が語れます。本気度が伺えるので、きっと面接官も好印象でしょう。

夢が実現する人の特徴

自分が言ったことが実現する。これを自己成就予言と言いますが、言えはいってもんじゃない。「できたらいいなと思います」みたいな弱気な言い方は実現しないでしょ。

京セラの稲盛さんの言葉を借りれば、ド真剣に取り組む。それでこそ実現できるというものです。ついでに言えば、夢が実現する人は、いつまでに、という期限が明確です。夢に日付を入れると目標になる、とはブラックと叩かれた居酒屋チェーンの創業者の言葉ですが、熱い思いは学びたいと思います。ってことで、今年、新年の私の誓いは…「〇〇」言葉からして曖昧。これでは先が思いやられます。

コラムニスト

福田 穂 [ふくだ みのり]

穴吹教育総合研究所 所長 / 中小企業診断士 / 社会保険労務士
保護者向け講演や高校への出前講義をこなすかわら、新入社員教育にも力をいれる。著書に「目標未達でも給料が上がる人」(角川新書)や「カイシャ語 使える! 大人のコトバ辞典」(小学館)などがある。



<http://www.m-fukuda.info>

穴吹カレッジ就職内定状況と求人社数状況(2017.12.31現在)

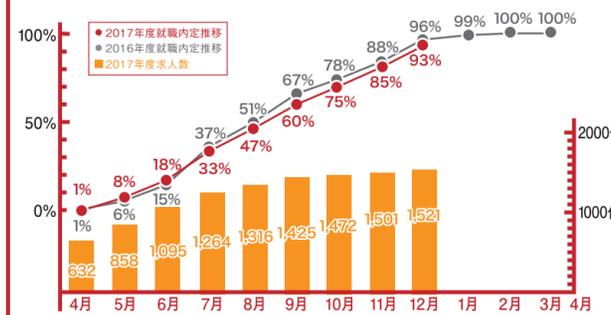
高松

全国・有効求人倍率1.56倍 香川・有効求人倍率1.74倍(2017年11月)
香川県の有効求人倍率は、今年度4月以降、常に1.7倍以上の高水準で推移しており、売り手市場が続いています。職業別では格差が見られ、全職種で売り手市場とは言えない状況がありますが、学生の皆さんにとっては、大きなチャンスが訪れています。2017年度高松地区の就職状況ですが、医療系学科も本格的な活動が開始され、全体的に高水準で内定が推移しております。いよいよ次年度の就活も開始されて参りますので、売り手市場を追い風に、高みをめざした早めの活動を進めてください。



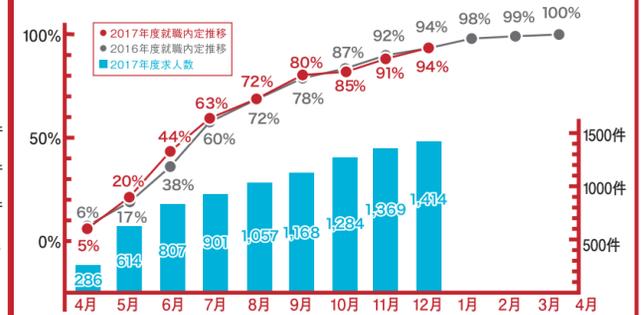
福山

今年度生の就職支援も終盤を迎え、就職キャリアセンターではいよいよ次年度生の支援体制に入りました。近年は働き手不足の時代でもあり、すでに多くの企業の方々から次年度の採用活動に向けて来校されています。これまでお付き合いしている多くの企業に加えて、更に新しい企業との関係を深めていけるそうです。就職キャリアセンターは常に新鮮な情報を外部との関わりの中から得るために存在しています。上手に利用し、悔いのない就職活動をやり遂げましょう。



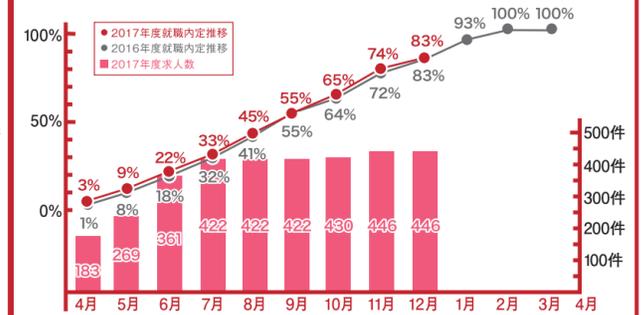
徳島

2018年卒就職戦線も終盤を迎えています。学生一人ひとりが粘り強く自分を磨き、内定を勝ち取った結果、徳島校の内定率は前年同様順調に推移しております。新しい年を迎え、次年度生の活動も少しずつですが動きが出ており、冬休みにはインターンシップなどに積極的に参加する学生も出てきております。現在活動中の学生は諦めず、強い気持ちで活動を続けてください。就職キャリアセンターも最後までしっかりサポートを行います。



広島

2年生には受験先を絞り込むための職場への引率、面接試験の同行を実施して内定に結びつくサポートを実施しています。企業からの求人も引き続き届いていますので求人紹介を継続します。1年生には1月から就職キャリアセンターによる進路個人面談を実施し、進路の希望調査を行います。ご家庭でも進路を話題としたお話をされてみてはいかがでしょうか。日々の取り組みの様子は就職課スタッフブログを是非ご覧ください。(http://anabukidesign.blog37.fc2.com/)



内定率=内定者数÷就職希望者数※公務員希望者は除きます。